

特定分野に特異な才能のある 児童生徒に対する支援の推進事業

R5取組概要

名古屋市教育委員会事務局
新しい学校づくり推進課

研究概要

■テーマ

一人一人の個に応じた学びを支える「緩やかな協働性」の創り手となる児童の育成とカリキュラムデザインの研究

■概要

名古屋市立小学校において、児童が「いつ学ぶか」「何を学ぶか」「どこで学ぶか」「どのように学ぶか」を自分で選択する、複数教科同時進行型の自由進度学習に取り組んでいる。

自由進度学習は「緩やかな協働性」を基盤としつつ、学習者一人一人の学びにおける自己決定の機会を最大化することで、特定分野に特異な才能のある子どもたちを含む全ての児童生徒への包摂性を高めることにつながる。

本研究では、「緩やかな協働性」を育む要因を明らかにしていく。

取組

R5 ▶▶▶▶▶▶▶▶ R6

■学級づくり

「教室リフォームプロジェクト」
「プロジェクトアドベンチャー」を活用
一人一人の心理的安全性を高めた。

▶ 「教室リフォームプロジェクト」
「プロジェクトアドベンチャー」の充実

■学習

「イェナプラン教育7つのエッセンス」
「ホワイトボードミーティング」を活用
振り返り活動でメタ認知力の向上を図った。

▶ ICT端末を活用、
振り返り活動や自己の変容理解の充実

■教職員研修

- ①自由進度学習
- ②クラス会議
- ③アドベンチャープログラム(理念)
- ④アドベンチャープログラム(実践)
- ⑤子どもたちの学びの多様性

▶ 研修内容の充実

■実践学級

運営指導委員会(年3)、個別訪問指導(年3)、指導主事(週1)

■効果検証

アンケート児童質問紙、行動観察、教員所見、教員報告、教員インタビュー、
単元テスト等を用い、教員の立場から、学校内の学習や生活において起こそ
うとしている現象、起きている現象を構造化する。

名古屋市立小学校の取組

複数教科同時進行型自由進度学習って？

いつ
学ぶか

何を
学ぶか

どの
ように
学ぶか

を 自分で選択 する

➡自分の学びに 責任 を持つ

単元進度表



6年生 算数 プロジェクト名
「サークルマスターへの道P」



単元のゴール(学習内容)

単元のゴール(学習内容)
・ 円の面積の求め方を公式、曲線図形の面積の求め方を考え、説明することができる。

最終の振り返りチェック！！

(90%以上 ◎ ・ 70~80% ○ ・ 70%未満 △)

時間数の目安

毎時の学習めあて

学習の進め方

振り返り

時間	めあて	やること	教科書	計画	本時の振り返り(◎・○・△)
	インストラクション	円の面積の見当をつける			
	円のおよその面積の求め方について考える	96のQRコードを読み取り、スクラッチを利用し、だいち・さくら・かいの考え方を考える	96 97		① 円の面積は正方形の面積の約何倍？
	円の面積の公式を導く	おうぎ形の面積の公式について考える。	98 99	4	② 円の面積公式は？
	インストラクション	あなた・だいち・さくらの考え方をグループのみんなが説明できるようにする。	100 101	5	

自分の時間割

時間割

1時間目					
2時間目	★YST	★YST	YST	道徳	YST
3時間目	外国語 さり先生	道徳	国語	外国語 さり先生	PJ
4時間目	音楽 蛸尾先生				理科
5時間目	情報(タブレット について)	理科	体育(運動場)	理科イン(⑦)	体育(水泳)
6時間目		体育(運動場)	書写(硬筆)		体育(水泳)
家庭学習	スキル	スキル	スキル	スキル	スキル
連絡		漢字スキル提出 (42まで)			漢字スキル提出 (46まで)

課題の目安

国語	雪は新しいエネルギー	④⑤⑥	進度表
算数	分	⑥	
理科	植物の成長と水の関わり	④⑤⑥ ⑦はみんな インストラクション	みんなで進めます
社会	武士の世の中	④⑤⑥ 探偵レポート完成(来週発表)	進度表

週の振り返り×7つの道

学びに向かう力	計画する	協力する	生み出す	表現する	振り返る	学ぶ責任
仲間とつながる	一定期間の予定が言える	ほかの人たちと協力する	新しいことを思いつく	考えを自分の言葉で表現する	自分の成長を伝えられる	「なぜその学び方を選んだか」を説明できる
進んで学ぶ	自分の目標を決めることができる	仲間の「考える時間」を大切にする	常に問い続ける	自然で自分らしく表現する	何を学んだのかを言える	始まる前に準備し、終わったら使ったものを片付けることができる
ワクワクして学ぶ	課題に必要な時間を把握し、適切な順序で進めることができる	仲間の考えに共感できる	ほかの人のアイデアに柔軟に合わせられる	目を見て話す	友達や先生からアドバイスを受け取る	チャームが鳴ったら、すぐに学びに向かうことができる
自分の強みを活かす	手遅れにならないうちに計画を修正できる	説明を聞いたり、説明したりする	困難があってもあきらめずに努力してやりとげる	ジェスチャーを使って表現する	友達にアドバイスする	学びやすい環境を作る
楽しむ!	先週の学びを振り返り、今週の計画に生かすことができる	自分のことも仲間のことも大切にできる	人の意見を認める	はっきりとした言葉と声を使って表現する	自分の学び方を見直し、改善する	燃えた!!

(月)「特に意識したい道は?その理由は?」

目標 振り返り

(金)「何をどう学んで何をかせたか振り返り来週か?」「新しいこと?」

自分の時間割

1時間目					
2時間目	★YST 国	★YST 算	YST 社	道徳	YST 理
3時間目	外国語 さり先生	道徳	国語	外国語 さり先生	PJ
4時間目	音楽 堀尾先生	YST 算	家庭科 佐藤先生	YST 理	理科
5時間目	情報(タブレット について)	理科		理科イン(⑦)	体育(水泳)
6時間目					体育(水泳)
家庭学習	ス				スキル
連絡					漢字スキル提出 (46まで)

自分で
選択

体育は、学なら保健、道徳
スキルを計画的に進めましょう。

国語	雪は新しいエネルギー	④⑤⑥	進度表
算数	分数のわり算	⑤⑥⑦	進度表
理科	体のつくりとはたらき 植物の成長と水の関わり	⑤⑥⑧(⑦はみんな)(⑨⑩) インストラクション	進度表 みんなで進めます
社会	武士の世の中	④⑤⑥ 探偵しポート完成(来週交流)	進度表

週の振り返り×7つの道

学びに向かう力	計画する	協力する	生み出す	表現する	振り返る	学ぶ責任
仲間とつながる	一定期間の予定が言える	ほかの人たちと協力する	新しいことを思いつく	考えを自分の言葉で表現する	自分の成長を伝えられる	「なぜその学び方を選んだか」を説明できる
進んで学ぶ	自分の目標を決めることができる	仲間の「考える時間」を大切にする	常に問い続ける	自然で自分らしく表現する	何を学んだのかを言える	始まる前に準備し、終わったら使ったものを片付けることができる
ワクワクして学ぶ	課題に必要な時間を把握し、適切な順序で進めることができる	仲間の考えに共感できる	ほかの人のアイデアに柔軟に合わせられる	目を見て話す	友達や先生からアドバイスを受け取る	チャームが鳴ったら、すぐに学びに向かうことができる
自分の強みを活かす	手遅れにならないうちに計画を修正できる	説明を聞いたり、説明したりする	困難があってもあきらめずに努力してやりとげる	ジェスチャーを使って表現する	友達にアドバイスする	学びやすい環境を作る
楽しむ!	先週の学びを振り返り、今週の計画に生かすことができる	自分のことも仲間のことも大切にできる	人の意見を認める	はっきりとした言葉と声を使って表現する	自分の学び方を見直し、改善する	燃えた!!

(月)「特に意識したい道は?その理由は?」

(金)「何をどう学んだ?来週に生かせる学びは?来週から改善したいことは?」

実践紹介 3年生



ネームプレート作成

道具箱の場所決め

ネームプレート完成!



プロジェクト
アドベンチャー

お誕生日会



意思決定の
大切さ

教室リフォーム

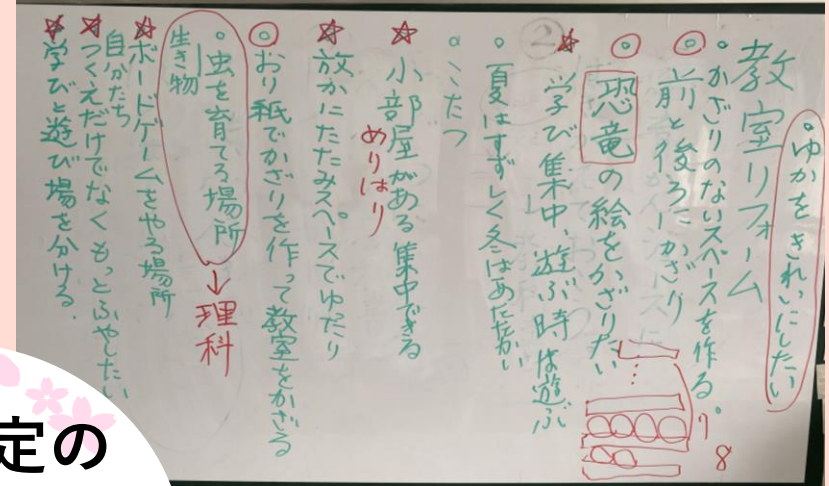
after



before



集中スペース

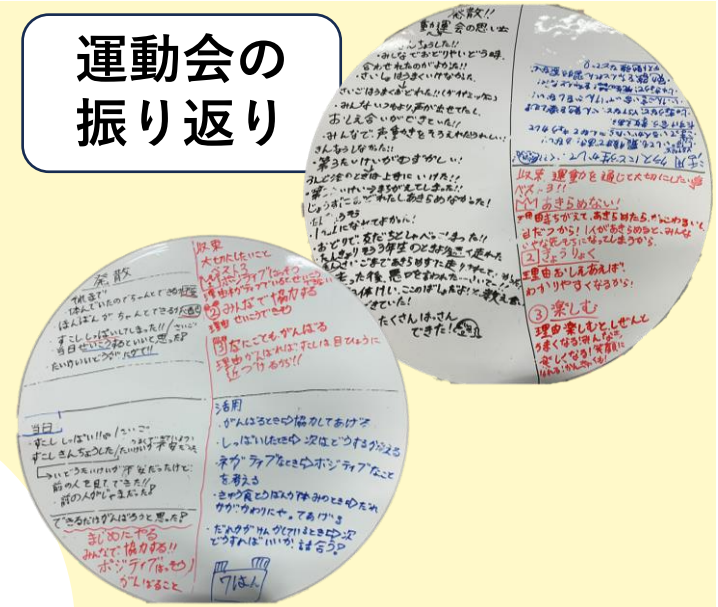


<教室リフォームの案>

実践紹介 4年生



運動会の振り返り



会社活動

ホワイトボードミーティング



会社活動

実践紹介 4年生

作品展



グループ活動

アドベンチャー
パイプライン



パイプライン



対象学級の特質

- ① 「自己選択」「自己決定」を大切にした
授業づくり、学級づくり

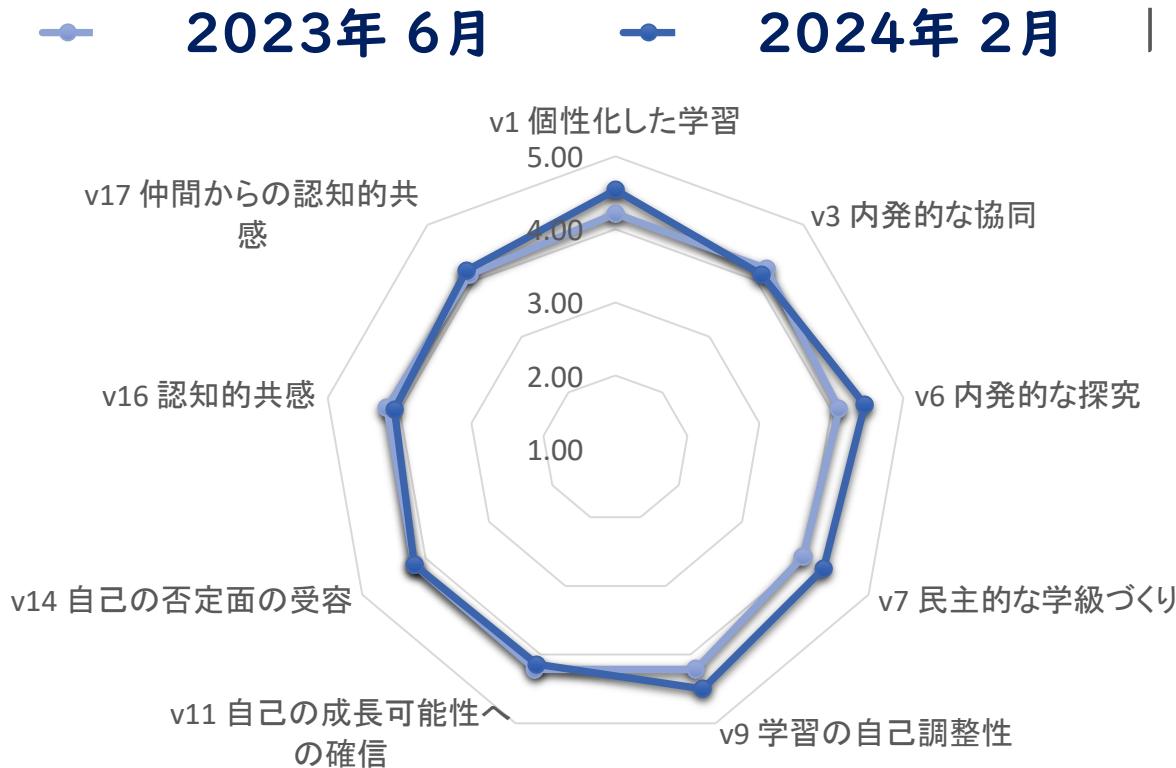
➔ **心理的安全性の向上**

- ② 多種多様な振り返り活動の充実

➔ **省察的学習者を育てる**

効果検証

アンケートの児童質問紙の分析 (実践学級、対象児童)



- 子どもたち自身が学級内において「緩やかな協働性」を創ることができるようになってきた。
- 児童質問紙において、「個性化した学習」や「内発的な協同」をはじめ、全国的な平均値に比べ高い数値で子どもたち自身が自己評価している。
- 代表学級以外についても同様の成果が表れていることから、取組みが学校文化として根付きつつある。

